News Release

日本たばこ産業株式会社

2015年1月9日

森林保全活動「JTの森 中辺路」
和歌山県、田辺市と森林保全・管理協定を10年間延長

JT （本社：東京、社長：小泉 光臣）は、2005年1月より和歌山県田辺市中辺路町で取り組んでいる「JTの森 中辺路」の「企業の森　森林保全・管理協定」を延長し、2015年1月より2期目の活動を展開します。

JTは、環境保全活動の取り組みの一環として、森林保全活動「JTの森」に取り組んでいます。2005年1月、和歌山県の推進する「企業の森」事業に参画し、県・市と協定を締結することで、最初のJTの森となる「JTの森 中辺路」が誕生し、10年にわたるJTと地域とが協働する森づくりの取り組みが始まりました。世界遺産の熊野古道の周辺にある伐採跡地への約18万本の苗木の植栽と育林に取り組んだ結果、土砂がむき出しであった山肌は緑を取り戻し、水源涵養（かんよう）などの森林の公益的機能を発揮しつつあります。

このたび、2015年1月に協定期間の満了を迎えるにあたって、これまで育んできた針葉樹と広葉樹の混交林をより豊かに、また持続的に生長できる森にするため、隣接区域を加えた計53.72haを対象に、次期10年間の延長のための協定を締結いたします。

2期目の活動では、1期に植栽した苗木が安定して生長するために必要な森林整備活動を継続するとともに、追加した区域では木々の密集による生長阻害が懸念されることから間伐に取り組みます。

今後も引き続き、地域の方々とJTグループ従業員との交流につながる協働の森づくりを進めていきます。

また、本協定延長にあたり、2015年1月16日に和歌山県庁にて、仁坂吉伸和歌山県知事、真砂 充敏 田辺市長、宮崎秀樹 JT取締役副社長が協定締結を行う、調印式を実施します。

JTグループでは、たばこ、医薬、飲料、加工食品事業において、葉たばこ、紙、野菜、茶葉などを原材料に使用しており、事業を支える自然の恵みに対する感謝の想いと企業の社会的責任の観点から、森林保全活動に取り組んでいます。今後も、健全で豊かな環境が将来の世代に引き継がれるよう、より良い環境の創造に向けた積極的な取り組みを進めていきます。

実施内容

名称	概要	
JTの森 中辺路	実施地	和歌山県田辺市中辺路町野中
	面積	53.72ha
	森林概要	サクラ・モミジ・コナラ・ヒノキ等
	活動内容	下刈、補植、除伐、間伐、歩道整備等
	活動期間	2015年1月20日より10年間

JT本社　IR広報部　〒105-8422　東京都港区虎ノ門2丁目2番1号　TEL03-5572-4291
JT大阪支店　業務部　〒531-0075　大阪府大阪市北区大淀南1-5-10　TEL06-6450-1223

ひとの ときを、想う。